

JP 403203936 A
SEP 1991

Best Available Copy

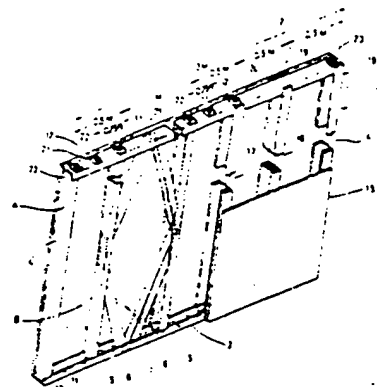
EV 073 888922

(54) WALL PANEL

(11) 3-208936 (A) (43) 12.9.1991 (19) JP
(21) Appl. No. 2-4953 (22) 12.1.1990
(71) NATL HOUSE IND CO LTD (72) MASAAKI OKABE
(51) Int. Cl. E04B2 00.E04B2 56

PURPOSE: To increase an efficiency of an assembling work, by providing a reinforcing part composed of inner frame members and braces in a peripheral frame and forming a jointing part in the neighborhood of the junction of the inner frame members and at the position departed from the jointed edge.

CONSTITUTION: An upper frame member 2 and a lower frame member 3 made from channel steels are connected to form a rectangle with a vertical member 4 at the edges thereof to define a peripheral frame and to make a large frame with the length three times as long as the module M. And a frame M is provided with a reinforcing frame 7 composed of inner frame members 5 in parallel with the peripheral frame A and diagonally connected braces 6. Moreover, the jointed edges of the inner frame member 5 are provided in the upper and lower frame members 2, 3 and conjunction parts 11, 12 are provided at the departed position from the jointed edge and panel member 15 are placed on both the front and rear faces to form a wall panel 1. In this way, the workability can be increased.



RECEIVED

MAR 13 2000

JAMES R. CYPHER

⑫ 公開特許公報(A) 平3-208936

⑮ Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成3年(1991)9月12日

E 04 B 2/00
2/566951-2E
7904-2E

E 04 C 2/46

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

⑭ 発明の名称 壁パネル

⑰ 特 願 平2-4953

⑱ 出 願 平2(1990)1月12日

⑲ 発 明 者 岡 部 正 昭 大阪府豊中市新千里西町1丁目1番12号 ナショナル住宅
産業株式会社内⑳ 出 願 人 ナショナル住宅産業株 大阪府豊中市新千里西町1丁目1番12号
式会社

㉑ 代 理 人 弁理士 苗 村 正

明 細 書

1. 発明の名称

壁パネル

2. 特許請求の範囲

1 長尺の上の枠材、下の枠材の両端を縦の枠材により接合した周部枠に、前記上、下の枠材を接続する平行な中の枠材と、該中の枠材間を斜めに結ぶブレースとからなる補強枠部を形成した枠組を具えるとともに、前記上の枠材、下の枠材と前記中の枠材の接続端近傍と、補強枠部から離れる向きに接続端から隔てた位置とに家屋構造体と結合する結合部を形成してなる壁パネル。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、家屋の耐力を向上するとともに、階上、階下に共通して使用可能とした壁パネルに関する。

(従来の技術)

壁、床、屋根等をパネルを用いて形成するパネル工法の家屋がある。又このようなパネル工法に

は、パネルを連結金具により結合するパネル組家屋の他、柱、梁等を用いて家屋構造体を形成したうえ、この家屋構造体にパネルを取付ける、軸組工法の家屋がある。

このような軸組工法の家屋において、家屋の剛性を高め、耐力を向上するには、従来、第4図に示すように、鋼製の周部枠aの内部に斜めのブレースbを組み込んだ、いわゆる耐力パネルCを用いてきた。しかも、階上、階下の剛性バランスの観点から、階上の耐力パネルC2は、階下の耐力パネルC1に比べて、巾寸法を小さく周部枠a、ブレースbの剛さを小さくすることにより、剛性を減じるなど、階下の耐力パネルC1と、階上の耐力パネルC2とは異なるものを利用していた。

これは、例えば第5図に例示するごとく、階上にも階下の耐力パネルC1を用いるときには、風圧、地震等により横方向の力Pが作用することにより、その力Pをそのまま二階梁Dに作用し、大きな垂直荷重Fを負担させる。従って、二階梁Dに変形を生じさせ、これに耐えるには二階梁Dの

剛性を過度に増大しなければならず、過剰品質となる。

なお第 6 図に示すように、階下にも階上の耐力パネル C 2 を用いるときには、階下部分の耐力が小さく、多くの耐力パネル C 2 を階下に配することが必要となるなど、経済性に劣る。

(考案が解決しようとする課題)

このように、階上、階下においては、剛性、寸法の異なる耐力パネル C 1、C 2 を用いてきたため、耐力パネル C 1、C 2 の種類が増し、設計、在庫、組立等に手間を要するという解決すべき課題があった。

他方、近年、運送事情の向上に伴い、壁パネル自体の巾寸法を大型化することによって、搬送、建込み等の施工作業を向上した大型の壁パネルが採用されつつある。

本発明は、大型の枠組を採用するとともに、階上、階下に共通して使用可能とすることにより、前記課題を解決でき、かつ建込み施工をも効率化しうる壁パネルの提供を目的としている。

二階梁からの力を基礎に伝達できる。又階上に取り付く場合には、前記離れた位置の結合部により結合することによって、接続端と結合部との間がパネル性を有して変形でき、二階梁、屋根梁に作用する垂直力を減じるとともに、その弾性変形によりエネルギーを吸収し、二階梁、屋根梁とともに家屋の損傷を減じる。

(実施例)

以下本発明の一実施例を図面に基づき説明する。

図において壁パネル 1 は、上の枠材 2、下の枠材 3 の両端を縦の枠材 4、4 により矩形に接合した周囲枠 A に、平行な中の枠材 5、5 とその間を斜めに継ぐブレース 6 とからなる補強枠部 7 を設けた枠組 B を具え、又上、下の枠材 2、3 には、前記中の枠材 5、5 の接続端と、該接続端から離れた位置とに結合部 11、11、12、12 を設けており、又枠組 B の変置には面材 14、15 を添設している。

前記上、下の枠材 2、3、縦の枠材 4 はともに断面同形の溝形鋼からなり、その溝部を内向けに

(課題を解決するための手段)

本発明は、長尺の上の枠材、下の枠材の両端を縦の枠材により接合した周囲枠に、前記上、下の枠材を接続する平行な中の枠材と、該中の枠材間を斜めに結ぶブレースとからなる補強枠部を形成した枠組を具えるとともに、前記上の枠材、下の枠材とに前記中の枠材の接続端近傍と、補強枠部から離れる向きに接続端から隔てた位置とに家屋構造物と結合する結合部を形成してなる壁パネルである。

(作用)

枠組は長尺の上、下の枠材を縦の枠材で接合した大型の周囲枠を有する大型のパネル体となり、従って搬送、建込み作業が効率化できる。又周囲枠には、平行な中の枠材とブレースとからなる補強枠部を具えることにより、その取付けによって家屋構造物を補強できる。又前記中の枠材の接続端近傍と、接続端から隔てた位置とに結合部を形成している。従って階下では、接続端近傍の結合部により固定することにより、補強枠部を介して

かつ縦の枠材 4 両端の巾状部を向き合う上、下の枠材 2、3 に嵌合させかつ溶着することにより前記周囲枠 A を形成しており、又この周囲枠 A は、家屋における基準寸法であるモジュール M の例えは 3 倍長さ 3 M の大型枠として形成される。

前記中の枠材 5、5 も、他の枠材 2、3、4 と断面同形の溝形鋼からなり、かつ溝部を向き合わせ両端の巾状部を上下の枠材 2、3 に嵌合しかつ溶接により接続している。これにより、中の枠材 5、5 と、その間で挟む上、下の枠材 2、3 が矩形枠を形成するとともに、該矩形枠内に前記ブレース 6 を取付けることにより、前記補強枠部 7 を形成する。ブレース 6 は前記溝部に嵌入しうる溝形鋼を用いており、本例では、前記矩形枠内において、溝部を内向きにかつ縦長の変形状に配置される。

又本例では、中の枠材 5、5 は、モジュール M を隔てるとともに、一方の枠材 5 は、向き合う一方の縦枠材 4 から半分モジュール 0.5 M を隔てる。なお上、下の枠材 2、3 間には、他方の縦の枠材

うから半分モジュール0.5 Mを隔てて木質材からなる普通の部材16と、溝形鋼からなる継ぎ材17とを配している。又継の枠材4、4、中の枠材5、5、継ぎ材16、17の裏面には木質材より比較的薄い継長の下地材19……を介して前記面材14、15を添設する。

なお前記下地材19により、周製の枠材4、5、17との間を断熱し面材14、15に生じる結露を防ぐとともに、下地材19、19間の各上下の間隙によって壁パネル1内部を換気でき、結露を防止しうる。

結合部11、12は、本例では上の枠材2の上面、下の枠材3の下面に夫々溶着される補強板21に、枠材2、3を貫通して穿設されるネジ孔22からなる。前記結合部11は、本例では、ネジ孔22を中の枠材5の接続端しかもその溝部のほぼ中間位置に位置させ、又結合部12は、前記ネジ孔22から、補強枠部7から離れる向きに該ネジ孔22から0.25 Mを隔ててネジ孔22を形成している。なお前記継枠材4、4、継ぎ枠材17

の上下にも、同様な結合部23……、24を設けている。

このような壁パネル1は、第2図に示すように、降下においては、接続端近傍の前記結合部11、11により、下端を基壁Cに、上端を二階梁Dに固定する。又降上では、離れた前記結合部12、12により、下端の二階梁Dに、上端を屋根梁Eに固定する。なお固定に際しては、アンカーボルト、梁D、Eを通るボルト等を用いて固定する。従って、地震、強風等により横向きの力Pが作用したときには、第3図に示すように、降上の壁パネル1においては、前記結合部11、12間の上、下の枠材2、3が夫々弾性変形し、変形エネルギーを吸収するとともに、結合部12が補強枠部7の中間から離れることにより、結合部12をへて二階梁D、屋根梁Eに伝わる垂直力Fを減じうる。さらに降下の壁パネル1の補強枠部7においては、結合部11、11間の下側の枠材3が弾性変形し、エネルギーを吸収すると同時に、結合部11は中の枠材5の接続端に設けられることにより、大き

な耐力を負担すると同時に、その垂直力を基壁Cに伝達する。

このように、同一の壁パネル1、1を降上、降下で使用し、結合部11、12の使用位置をかえることにより、降上、降下に作用する力を効果的に吸収でき、かつ家屋構造体への垂直力を適切化し、家屋の耐力を高めうる。

なお本発明の壁パネル1において、上、下の枠材2、3は、基準モジュールの2倍又は4倍など種々な長さに設定でき、又補強枠部7も枠組9の中間位置、さらには一方の継の枠材4の近傍に位置させて設けることもできる。又結合部11、12とに、家屋構造体と結合する垂直片を用いるなど、種々変形しうる。

(発明の効果)

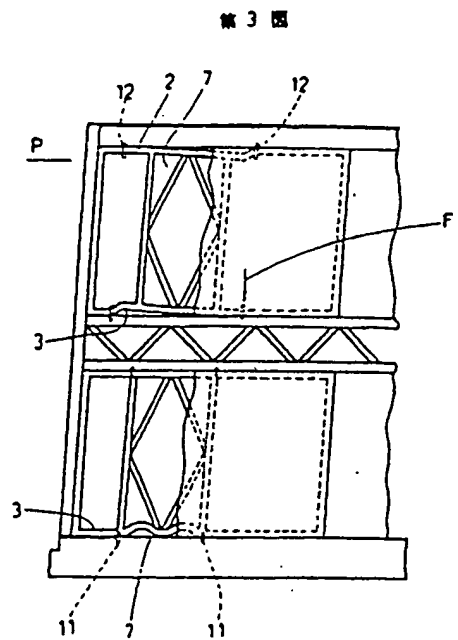
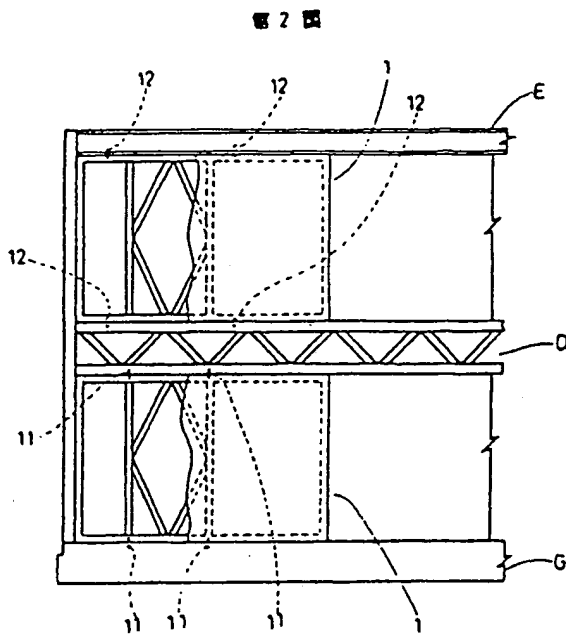
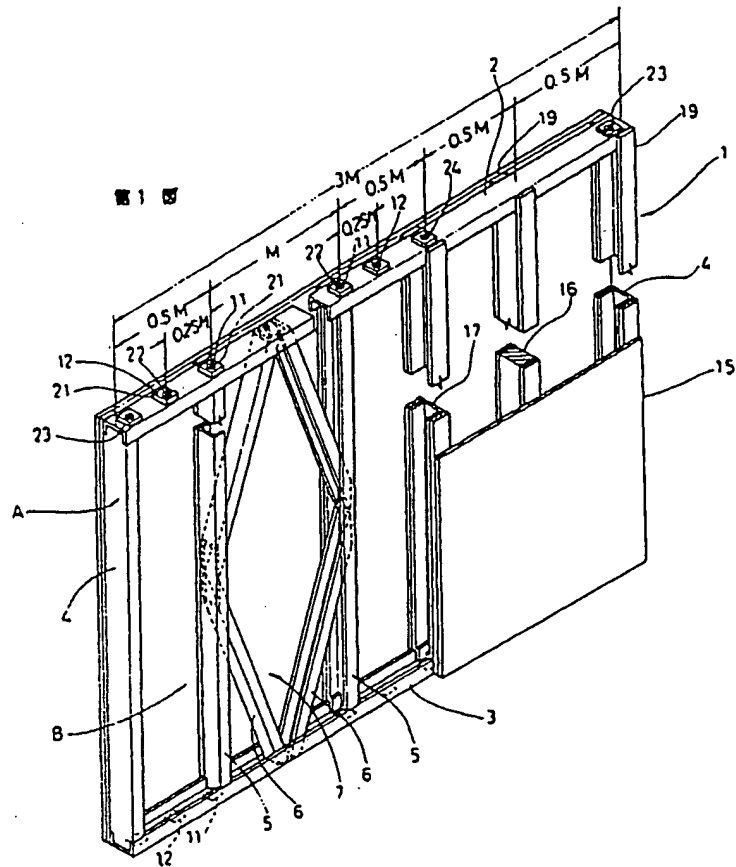
このように本発明の壁パネルは、大型の周囲枠を有する大型のパネル体を形成しており、従って搬送、建込み作業が効率化できる。又平行な中の枠材とブレースとからなる補強枠部を具えることにより、その取付けによって家屋構造体を補強で

きる。又前記中の枠材の接続端近傍と、接続端から隔てた位置とに結合部を形成し、降下では、接続端近傍の結合部により固定することにより、補強枠部を介して二階梁からの力を基壁に伝達できるとともに、降上に取付く場合には、前記離れた位置の結合部により結合することによって、接続端と結合部との間がバネ弾性を有して変形でき、二階梁、屋根梁にかわる垂直力を減じるとともに、その弾性変形によりエネルギーを吸収し、二階梁、屋根梁とともに家屋の損傷を減じる。

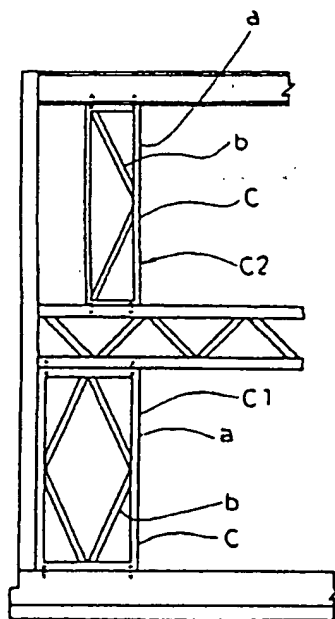
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す斜視図、第2図はその取付状態を示す正面図、第3図は変形の状態を示す正面図、第4図は従来構造を示す正面図、第5、6図は上下階に同一の耐力パネルを用いた状態を示す正面図である。

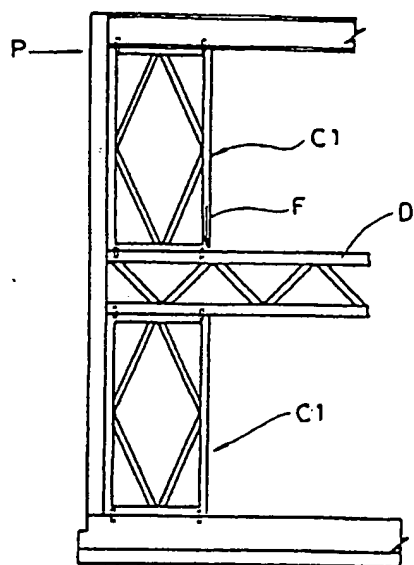
2……上の枠材、 3……下の枠材、4……継の枠材、
5……中の枠材、 6……ブレース、 7……補強枠部、
11、12……結合部、 14、15……面材、
A……周囲枠、 B……枠組。



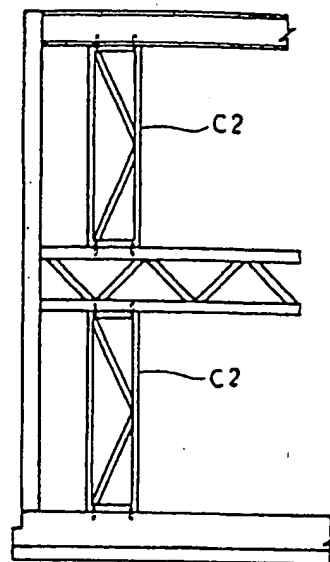
第 4 図



第 5 図



第 6 図



Attached please find the translation of Laid-open Patent H03-208936.

Comments are as follows:

1. "...the strength of a house..."

The Japanese uses a term that I would normally translate as "yield strength" or "proof stress" depending on the context. I don't think either fits well here. I elected to use the generic term "strength." The term is repeated several times throughout the patent.

2. "...to second floor beam D as large..."

I used the generic terms "column" and "beam" throughout. Item D looks more like a floor truss to me (in the drawings) but I remained faithful to the Japanese.

3. "...where M is a reference dimension ..."

The Japanese uses a phonetic rendition of the English word "module" synonymously with the word "dimension." In some cases they use the normal Japanese word for "dimension." I do not understand this usage of "module" and stuck with dimension. At any rate, I suppose "module" is where the letter "M" came from.

4. fittings 12 move away from the middle

Here the Japanese uses the present tense of the same verb that I otherwise translated as "removed" (meaning separated from or distanced from). I don't know if this is simply sloppy writing (highly likely) or if they actually mean to say that the fittings 12 move outward away from reinforcing section 7.

5. at an intermediate position within framework ??B or at a position

In the Japanese it looks like "framework 9" but I don't think there is an item no. 9.

General comment: I generally try to match up the item numbers from the figures in case someone is counting to make sure every thing is there.

However, in some cases the difference in Japanese and English grammar make this a difficult task. In a couple of cases I did not include repeated uses of item numbers that occurred in the Japanese because it would result in awkward English. If any questions arise as a result, do not hesitate to call.

Best regards,

David

file:///C:/Program Files/NeoPlanet/data/_TEMPE/headers.htm

4/18/00

EL 923544915

(19) Japanese Patent Office (JP)

(12) Laid-open Patent Application (A)

(11) Laid-open Patent Application No.: H03-208936

Identification Code

JPO File Nos.

(43) Laid-open Patent Application Date: September 12, 1991

Request for Examination: Not yet submitted

Number of Claims: 1 (5 pages total)

(54) Title: Wall Panel

(21) Patent Application Number: H02-4953

(22) Patent Application Date: January 12, 1990

(72) Inventor: Masaaki Okabe

National House Industrial Co.,Ltd.

1-1-12 Shinsenri Nishimachi, Toyonaka-shi, Osaka-fu

(71) Applicant: National House Industrial Co.,Ltd.

1-1-12 Shinsenri Nishimachi, Toyonaka-shi, Osaka-fu

(74) Agent: Tadashi Naemura, Patent Attorney

Description

1. Title of the Invention

Wall Panel

2. Claims

1 A wall panel wherein:

an outer frame, comprising long upper and lower members joined by vertical members, is furnished with a framework having a reinforcing section comprising parallel middle members connected to said upper and lower members and braces connected diagonally between said middle members and

fittings for coupling with the structural body of a house are provided on said upper and lower members at positions in the vicinity of where the ends of said middle members are connected and at positions removed from said ends in directions away from the reinforcing section.

3. Detailed Explanation of the Invention

[Industrial Field of Application]

The present invention relates to a wall panel that improves the strength of a house and can be used for both the upper and lower floors.

[Prior Art]

There are houses that are built using panel construction methods, wherein the walls, floors, and roof are formed using panels. Among these houses are panel-built houses, wherein panels are joined using fittings, and frame-built houses, wherein a structural body is built using columns, beams, etc., and panels are mounted to the structural body. /

In the case of frame-built houses, a steel outer frame *a* fitted with diagonal braces *b* to form a so-called load-bearing panel C (shown in FIG. 4) has typically been used to increase the durability and strength of the house. Additionally, compared to lower floor load-bearing panel C1, upper floor load-bearing panel C2 has a smaller width and the rigidity levels of its outer frame *a* and braces *b* are smaller, which reduces the rigidity of the panel. Thus lower floor load-bearing panel C1 and upper floor load-bearing panel C2 are not the same.

If, as illustrated in FIG. 5, load-bearing panel C1 were used on both the upper and lower

floors and a lateral force P caused by wind, an earthquake, or the like, acted on the structure, force P would be transmitted directly to second floor beam D as large vertical load F. Therefore, the rigidity of second floor beam D would have to be increased greatly in order to enable it to withstand the load with less deformation. The result would be an over-sized second floor beam D.

If, as illustrated in FIG. 6, load-bearing panel C2 were used on both the upper and lower floors, the strength of the lower floor portion would be small and many load-bearing panels C2 would need to be distributed on the lower floor, which is not economical.

[Problems the Invention Is to Solve]

As discussed earlier, load-bearing panels C1 and C2, which have different rigidity levels and dimensions, have been used on the lower and upper floors. The resulting increase in types of load-bearing panel C1 and C2 has complicated design, storage, and assembly procedures.

Meanwhile, recent improvements in the field of shipping have made it possible to carry wall panels with larger dimensions, and large-sized wall panels are beginning to be used to improve such construction operations as materials transport and erection.

The present invention comprises a large framework and can be used on both the upper and lower floors. The present invention is intended to provide a wall panel that can solve the aforementioned problems and improve the efficiency of the erection process.

[Means of Solving the Problems]

The present invention is a wall panel wherein an outer frame, comprising long upper and lower members joined by vertical members, is furnished with a framework having a reinforcing section comprising parallel middle members connected to said upper and lower members and braces connected diagonally between said middle members and fittings for coupling with the structural body of a house are provided on said upper and lower members at positions in the vicinity of where the ends of said middle members are connected and at positions removed from said ends in directions away from the reinforcing section.

[Operation of the Invention]

The invention results in a framework comprising a large panel having a large outer frame for which the long upper and lower members are joined by vertical members. Consequently,

the efficiency of shipping and erection work can be improved. Also, installation of the panels can reinforce the structural body of a house because the outer frame is provided with a reinforcing section comprising parallel middle members and braces. There are fittings provided in the vicinity of the ends of the middle members and at positions removed from said ends. Therefore, when used on the lower floor and affixed using the fittings in the vicinity of said ends, forces from the second floor beam can be transmitted to the foundation through the reinforcing section. When installed on the upper floor and coupled using the fittings located at said removed positions, the portion of the frame between the ends of the middle members and the fittings behaves as a spring and can deflect. This arrangement reduces vertical forces acting on the second floor beam and roof beam, and the elastic deformation of said portion absorbs energy, thus reducing damage to the house as well as the second floor beam and roof beam.

[Working Examples]

Below, a working example of the present invention is explained while referring to the drawings.

In the drawings, rectangular outer frame A of wall panel 1 is formed by joining both ends of upper member 2 and lower member 3 with vertical members 4, 4. Said outer frame is furnished with framework B, which is provided with reinforcing section 7 comprising parallel middle members 5, 5 and diagonally arranged braces 6. Fittings 11, 11, 12, 12 are provided on upper and lower members 2, 3 at positions in the vicinity of where the ends of middle members 5, 5 are connected and at positions removed from said ends. The front and back of framework B are provided with face members 14, 15.

Upper and lower members 2, 3, as well as vertical members 4, are made of steel and have a U-shaped cross-section. The U-shaped side of each member is faced inward and the narrow portions on both ends of vertical members 4 are fitted into opposing upper and lower members 2, 3 and welded to form said outer frame A. Outer frame A is formed as a large-sized frame with a length of, for example, 3M, where M is a reference dimension for a house.

Middle members 5, 5 are also made of U-shaped steel, similarly to the other members 2, 3, 4, and are arranged with the U-shaped side facing one another and with the narrow portions on both ends inserted into upper and lower members 2, 3 and connected by welding. Thus, middle members 5, 5 and the portion of upper and lower members 2, 3 there between form a

rectangular frame. Reinforcing section 7 is formed by installing braces 6 within said rectangular frame. Braces 6 are made of U-shaped steel that can be fitted into the U-shaped portion of the other members and, in this working example, are arranged in the shape of a vertically oriented diamond with the U-shaped sides facing inward.

In this working example, middle members 5, 5 are separated by a distance of reference dimension M and one member 5 is separated by a distance of $0.5M$ from one of opposing vertical members 4. Also disposed between upper and lower members 2, 3 at intervals of $0.5M$ from the other vertical member 5 are joint member 17 and regular member 16, made of U-shaped steel and wooden material, respectively. Additionally, face members 14, 15 are provided on the front and back of vertical members 4, 4, middle members 5, 5, and joint members 16, 17 with wooden lining members 19, which are relatively thin and long in the vertical direction, disposed in-between.

Lining members 19 serve as thermal insulation between steel members 4, 5, 17 and prevent the formation of dew on face members 14, 15. Upper and lower gaps between lining members 19, 19 allow ventilation of the inside of wall panel 1 and enable the prevention of dew formation.

In this working example, fittings 11, 12 comprise reinforcing plates 21 welded to the top face of upper member 2 and the bottom face of lower member 3 and threaded holes 22 opened into and passing through members 2, 3. Also, in this working example, fittings 11 are formed so that threaded holes 22 are positioned at the ends of middle members 5 and roughly in the middle of the U-shaped portion of said members. Fittings 12 are formed so that the respective threaded holes 22 are positioned at a distance of $0.25M$ from the threaded holes 22 of fittings 11 in directions removed from reinforcing section 7. The same kind of fittings 23, 24 are also provided on the top and bottom of vertical members 4, 4 and joint member 17.

As shown in FIG. 2, when wall panel 1 installed on the lower floor, fittings 11, 11 are used to secure the lower end to foundation G and the upper end to second floor beam D. When the wall panel is used on the upper floor, fittings 12, 12 are used to secure the lower end to second floor beam D and the upper end to roof beam E. Anchor bolts, bolts that pass through beams D and E, or the like are used to secure the wall panel. Consequently, when a lateral force P acts due to an earthquake or a strong wind, upper and lower members 2, 3 of the upper floor wall panel 1 undergo elastic deformation between fittings 11, 12, as shown in FIG. 3. This elastic deformation absorbs energy. Also, since fittings 12 move away from the middle of reinforcing section 7, vertical forces F that are transmitted to second floor beam D and roof

beam E through fittings 12 are reduced. Meanwhile, lower member 3 of the lower floor wall panel 1 undergoes elastic deformation between fittings 11, 11 in the vicinity of reinforcement section 7 and absorbs energy. At the same time, since fittings 11, 11 are provided at the ends of middle members 5, they can withstand large loads and transmit the vertical components of those loads to foundation G.

Thus, identical wall panels 1, 1 can be used on both the upper and lower floors. By utilizing the different positioning of fittings 11, 12, the forces that act on the upper and lower floors can be efficiently absorbed and the vertical forces that act on the structural body of a house can be reduced to a reasonable level, resulting in a stronger house.

The upper and lower members 2, 3 of wall panel 1 can be designed to various lengths, such as two or four times the reference length. Reinforcing section 7 can also be provided either at an intermediate position within framework B or at a position closer to one or the other of vertical members 4. Numerous other variations are also possible, such as using a vertical piece that couples with the structural body of the house as fittings 11, 12.

[Effects of the Invention]

A wall panel in accordance with the present invention is a large panel having a large outer frame and can therefore improve the efficiency of shipping and erection work. The wall panel can also serve to strengthen the structural body of a house because it is provided with a reinforcing section comprising parallel middle members and braces. Fittings are located in the vicinity of the ends of the middle members and at positions removed from said ends. When the wall panel is used on the lower floor, it is secured by the fittings in the vicinity of the ends of the middle members and, as a result, forces from the second floor beam can be transmitted to the foundation through the reinforcing section. Meanwhile, when the wall panel is used on the upper floor, it is secured by the fittings in said removed positions and the portion between said ends and the fittings can undergo elastic deformation. As a result, the vertical forces acting on the second floor beam and roof beam are reduced, energy is absorbed by the elastic deformation, and damage to the second floor beam, roof beam, and the house itself is reduced.

4. Brief Explanation of the Drawings

FIG. 1 is a perspective view of one working example of the present invention:

FIG. 2 is front view showing the mounting locations of the same working example;

RECEIVED

APR 19 2003

JAMES R. CYPHER

FIG. 3 is a front view showing the elastic deformation:

FIG. 4 is a front view showing the structure of a conventional wall panel;

FIGS. 5 and 6 are front views illustrating the use of identical load-bearing panels on the upper and lower floors.

- 2.....upper member
- 3.....lower member
- 4.....vertical member
- 5.....middle member
- 6.....brace
- 7.....reinforcing section
- 11, 12....fitting
- 14, 15 ...face member
- Aouter frame
- B.....framework

FIG. 1

FIG. 2

FIG. 3

FIG. 4

FIG. 5

FIG. 6

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☒ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

Best Available Copy

-1- (WPAT)

AN - 98-004672/01

XRPX- N98-003514

TI - Multistorey building structure - makes each pair of several portal frames, installed on pillars and beams already built with earthquake-proof walls, run longitudinally or laterally and are perpendicular to building height

DC - Q43

PA - (SHMC) SHIMIZU CONSTR CO LTD

PR - 96.04.08 96JP-085561

NUM - 1 patent(s) 1 country(s)

PN -- JP09273214 A 97.10.21 * (9801)

4p E04B-001/18

EV073888922

AP -- 96JP-085561 96.04.08

IC1 - E04B-001/18

AB - JP09273214 A

The structure includes several large beams (2) constructed between the pillars (1). An earthquake-proof wall (4) is enclosed between each pairs of pillars and beams. Each wall is also arranged as such that a portal can be constructed between the pillars and beams.

Several portal frames (5) are installed over the entire building height where the walls are installed. Each pair of portal frames runs laterally and longitudinally and are both perpendicular to the building height.

ADVANTAGE - Reduces piling of large beams. Increases pillar interval. Reduces pull acting on building. Uses installation space by enlarging floor amount. (Dwg.2/3)

FN - WPI03LS1.GIF

SS 3?

SOMEWAT RELATED BUT...

NOT YOUNG KNOWN

PUBLISHED IN '97

APPLICATION FILED IN APRIL OF 1996

PATENT DERIVED FROM SUMMARY

RECEIVED

1000 1000

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-273214

(43) 公開日 平成9年(1997)10月21日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
E 0 4 B 1/18			E 0 4 B 1/18	A

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

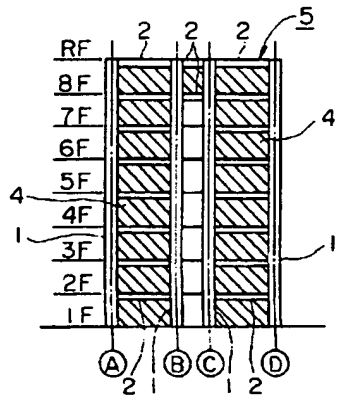
(21) 出願番号	特願平8-85561	(71) 出願人	000002299 清水建設株式会社 東京都港区芝浦一丁目2番3号
(22) 出願日	平成8年(1996)4月8日	(72) 発明者	富川 信一郎 東京都港区芝浦一丁目2番3号 清水建設株式会社内
		(72) 発明者	中村 茂 東京都港区芝浦一丁目2番3号 清水建設株式会社内
		(72) 発明者	福地 学 東京都港区芝浦一丁目2番3号 清水建設株式会社内
		(74) 代理人	弁理士 柳田 良徳 (外3名) 最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 建築物の構造

(57) 【要約】

【課題】 柱間隔を拡大することを可能とし、以て柱および杭の所要本数を削減し、さらに必要であれば大梁も削減することの可能な有効な構造を提供することを目的とする。

【解決手段】 双方向ラーメン構造を基本とする建築物の任意の位置に耐震壁4を立面視において門型をなすように上下方向に連続的に配置することにより、それら一連の耐震壁とそれら耐震壁が設置されている柱1と大梁2とによって当該建築物の全高にわたる門型架構5を構成し、その門型架構を当該建築物の互いに直交する2方向に沿うように設ける。門型架構の内側における大梁は省略することが可能である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 柱と、柱間に架設される大梁と、柱および大梁の間に設置される耐震壁とを主要構造要素として構築される建築物の構造であって、当該建築物の任意の位置に前記耐震壁を立面視において門型をなすように上下方向に連続的に配置することにより、それら一連の耐震壁とそれら耐震壁が設置されている柱と大梁とによって当該建築物の全高にわたる門型架構を構成し、かつ該門型架構を当該建築物の互いに直交する2方向に沿うように設けてなることを特徴とする建築物の構造。

【請求項2】 前記門型架構の内側における大梁を省略してなることを特徴とする請求項1記載の建築物の構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は多層多スパン建築物の構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】周知のように、この種の建築物の構造としては双方向ラーメン構造が最も一般的に採用されているが、双方向ラーメン構造においては柱の間隔を大きくして大スパンとすることは必ずしも有利ではなく、このため通常は柱の所要本数が多くなり、したがって杭を必要とする場合は柱と同数の多数の杭が必要となり、さらに柱間に架設される大梁の所要本数も当然に多大となるものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記事情に鑑み、本発明は、双方向ラーメン構造を基本としつつも柱間隔すなわちスパンを拡大することを可能とし、以て柱および杭の所要本数を削減し、さらに必要であれば大梁も削減することの可能な有効な構造を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、柱と、柱間に架設される大梁と、柱および大梁の間に設置される耐震壁とを主要構造要素として構築される建築物の構造であって、当該建築物の任意の位置に前記耐震壁を立面視において門型をなすように上下方向に連続的に配置することにより、それら一連の耐震壁とそれら耐震壁が設置されている柱と大梁とによって当該建築物の全高にわたる門型架構を構成し、かつ該門型架構を当該建築物の互いに直交する2方向に沿うように設けてなることを特徴とする。この場合、門型架構の内側における大梁は省略することが可能である。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の一実施形態を説明する。本実施形態は平面形状がX方向に長い四角形状とされた8階建ての建築物に本構造を適用したものであって、図1は平面図、図2および図3はそ

れぞれ立面図である。

【0006】図において符号1は柱、2は柱間に架設された大梁、3は小梁、4は柱1と大梁2間に設けられた耐震壁である。なお、大梁2、小梁3は図1においては破線で示しており、耐震壁4は図2および図3においては斜線を付して示してある。

【0007】本構造は、柱1と大梁2とによる双方向ラーメン構造を基本とするものであるが、上記の耐震壁4が要所に適正に配置されることにより合計8箇所において門型架構5が構成されており、そのような門型架構5を設けることによって柱間隔が通常のラーメン構造の場合よりも大きく設定され、しかも大梁の一部を省略し得たものとなっている。

【0008】すなわち、本実施形態では、②通りのA～B間とC～D間にそれぞれ最下階から最上階までの各階に耐震壁4が連続的に設けられているとともに、最上階においてはB～C間にも耐震壁4が設けられることで、図2に示すように立面視においてそれら耐震壁4が門型をなすように配置されており、それら一連の耐震壁4とそれらが設置されている柱1、大梁2とによって門型架構5が②通りに設けられている。同様の門型架構5は⑤通り、⑥通り、⑨通りにもそれぞれ設けられ、さらに、図3に示すようにB通りの②～⑤間と⑥～⑨間、C通りの②～⑤間と⑥～⑨間にも設けられている。

【0009】そして、上記の各門型架構5の内側においては、通常のラーメン構造の場合には設けられる大梁が省略されており、したがって図1に示されるように、この建築物のB～C間、③～④間、⑦～⑧間にはそれぞれ外周部を除いて梁が一切省略されたものとなっている。

【0010】上記のように、X方向およびY方向の双方向に計8箇所の門型架構5を配した構造にあっては、通常のラーメン構造の場合に比して柱間隔を2倍程度に拡大でき、その分、柱1の所要本数を削減し得るものであり、それに伴い、杭が必要である場合はその所要本数も削減でき、また、柱1を削減することに伴って大梁2も自ずと削減できることに加えて、門型架構5の内側における大梁もを省略したので、通常の変方向ラーメン構造に比して格段に簡略化されたものとなり、大幅なコストダウンを図ることができる。勿論、双方向に門型架構5を設置することに加えて、柱1や大梁2の断面寸法を適正に設定し、必要であれば小梁3を適正に配置することにより、柱間隔を大きくしかつ大梁の一部を省略したといえども建築物全体の耐震性能を充分に確保できることは当然である。特に、門型架構5は建築物に加わる引き抜き力を低減せしめるように機能し、その結果、耐震効率を向上させることが可能であって効率的で経済的な架構断面を実現できるものである。

【0011】また、門型架構5の内側の大梁を省略したことにより、その部分では梁型が突出することがないので有効階高を実質的に大きく確保でき、その部分をたと

3

えば配管や配線のための設備スペースとして有効利用できる。したがって、平面計画上はこの部分を廊下や保守通路として利用することが好ましい。また、耐震壁4は当然に耐火区画壁として機能し得るから、本構造はそれら耐震壁4を耐火区画壁として利用する場合、たとえば危険物を収納したりそれを取り扱う実験室等の諸室を設ける場合等に適用して特に好適である。なお、耐震壁4の一部に扉程度の開口部を設けることは支障がない。

【0012】以上で本発明の一実施形態を説明したが、耐震壁4による門型架構5の設置位置やその形態は、建築物の形態や規模、要求される耐震性能等を勘案して最適設計すれば良いことは当然である。また、上記においては門型架構5の内側における大梁を省略したが、本発明はそうすることに限定されるものではない。さらに、本発明は、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造等の任意の構造に適用できることはいうまでもない。

【0013】

【発明の効果】以上のように、本発明は、双方向ラメ

4

ン構造を基本として、一連の耐震壁により構成される門型架構を双方向に配置したものであるので、通常のラーメン構造による場合に比して柱間隔を増大させることができ、したがって杭や大梁も削減することが可能であるとともに、建築物に作用する引き抜き力を低減せしめて合理的かつ経済的な架構を実現し得るものである。特に門型架構の内側の大梁を省略することが可能であり、そのようにした場合には有効階高を実質的に大きくし得て設備スペース等として有効利用することができる

10 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態を示す平面図である。

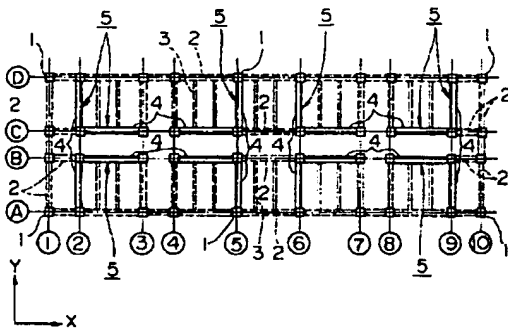
【図2】同、立面図である。

【図3】同、立面図である。

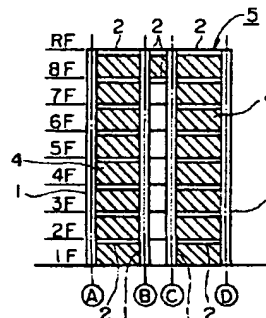
【符号の説明】

- 1 柱
- 2 梁
- 4 耐震壁
- 5 門型架構

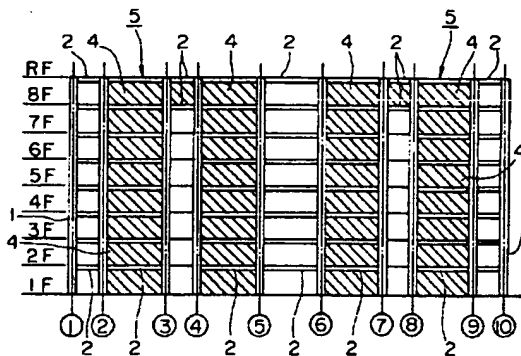
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(72) 発明者 下村 英男

東京都港区芝浦一丁目 2 番 3 号 清水建設
株式会社内